

☆講演題目

小型原子炉の市場と超小型高速炉の可能性

☆講演概要

原子力の基幹電源や動力利用以外の、熱利用を含む多目的利用分野への適用について、環境保全の認識の高まりとともに市場として有望視される分野が拡大している状況を踏まえ、小型原子炉特に超小型高速炉4Sの開発状況と将来の国際展開の可能性について、なぜ小型炉なのか、そしてなぜ高速炉なのかを開発経緯を踏まえて紹介する。

☆講師肩書き氏名

株式会社東芝 電力システム社

原子力事業部 技監 久保田 健一 (くぼた けんいち)

☆講師略歴

1979年京大原子核工学専攻修士課程卒業、東京芝浦電気株式会社(現東芝)入社。原子力事業部で新型炉(高速炉及び高温ガス炉)の開発・建設業務に従事。二度の動燃(現JAEA)出向(1987～1990年;もんじゅ許認可・建設、1998～2001年;FBR実用化戦略調査研究/FS フェーズ1)を経て、2002年原子力開発設計部長、2007年原子力事業部技監、現在に至る。日本原子力学会理事。日本電機工業会原子燃料サイクル専門委員会委員長。

☆講師顔写真

